

日本ソーシャルスキル協会 東北支援サークル活動報告



vol.8

2012年8月31日発行

震災後はじめて石巻入りしてから約1年。皆様のお力をお借りして、今日まで活動することができ、石巻出張所から生活を立て直すための物資をたくさんお届けすることができました。ご協力ありがとうございました。



8月26日(日)の石巻支援は、日本ソーシャルスキル協会講師の植松節子と活動いたしました。個別カウンセリングは5名実施。午後は「傾聴法」の研修会に8名が参加しました。

石巻の方々も「自分できることを何かしたい」といつも昼食を用意してくださ

います。「このかまぼこは復興の味なんですよ」「今日は切っておしゃれに出してるけど、普段は袋のまま食べて、私たちはおやつ感覚で食べているの」と復興の喜びを話されてましたが、ワカメは震災の影響で今までの湾で作れなくなるかもしれないと…。今まで普通に食べていたものが食べられない生活に、いろいろと考えさせられました。



効果的なコミュニケーション(傾聴法)を学びましょう

研修・植松節子講師 8月26日(日) 13:30～15:00

「町の中はきれいに片づけられ復興が進んでるように見えるけど、気持ちは進んでいないね」「これからどんどん悩む人が増えてくると思う」「でもそんなときど

う対応していいか悩むよね」「実際仮設に居る方は被害が大きいからこの場に居るのであって、被害の格差があるからどんな風に声をかけたらいいか?」「自分はもう切り替えて進もうと思っても、震災後から進めない方もいてバランスが取れない」という話を耳にしていました。



そこで今回は傾聴法を学んでいただきました。まずは開いた質問のやり方から学び、ご自身が会話をする時のクセに気づいていただきました。事柄や内容を聞くのではなく、相手の気持ちや感情に心を寄せるコミュニケーションの基本(挨拶→質問→傾聴→共感→繰り返し→確認)の演習をすることで、ご自身の価値観や考え方のクセも知ることができたようです。

相手の考えや思いに心を傾けて、寄り添うコミュニケーション力を活かし、その方を見守り、互いに助け合える輪が広がることを願っています。

NPO法人みやぎ子ども養育支援の会



NPO法人みやぎ子ども養育支援の会を訪問いたしました。

震災により、復興を担う子供の養育環境の整備も十分ではなく、大きな課題が残したままになっています。子育てしていく中で

は様々な問題を抱えます。そんなお母さんへの応援のために相談の場を設け、長期的で柔軟な養育支援を目指して、にこにこプロジェクトをつくり、地域の方々と日々頑張っていると思います。石巻市との協力で、子どもを取り巻く環境が一日でも早く安定することをお祈りします。



←プロジェクトの一つ。にこにこ工房でつくっています。

お礼の手紙が届いています。「お陰さまで、物は変わったけど同じ場所に花瓶を置きお花を飾り、料理をお皿に盛り、楽しむ余裕ができました。十分に支援いただきました」

物資については落ち着いてきたようです。ご協力ありがとうございました。

(猪俣)